

中央区見てある記 ～船場編～

「知・食・財が集まった船場の物語を巡る」
まちあるき

日時：2020年10月11日(日) 13:30～

主催：大阪市中央区役所

場所：船場界隈

参加人数：28名

すぐれもん：青木善雄さん、春木洋次さん、
千万多津子さん



緒方洪庵像前で解説する青木さん



クイズ形式で船場を紹介する春木さん



適塾前で船場の歴史を説明する千万さん

「知・食・財」が集まった 船場の物語をめぐるまちあるきイベント！



2020年10月11日(日)、13:30より中央区役所主催のまちあるきイベント「中央区見てある記～船場編～」が開催され、中央区まちのすぐれものの青木さん、春木さん、千万さんにまちあるきガイドをしていただきました。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、10名程のグループに分かれてのまちあるき。受付時は消毒、検温を行い、参加者、すぐれもんは皆マスクをして感染防止に努めました。

スタートは大阪証券取引所ビル前で船場の街並みを見渡している五代友厚像前。少彦名神社や適塾、除痘館記念資料室、船場の近代建築などを訪れゴールの北御堂ミュージアムへ。すぐれもんからは、子どもから大人まで多世代にわたる参加者のみなさんに向けて、わかりやすい解説で船場の魅力を紹介していただきました。

また、まちあるきの途中ではすぐれもんからのクイズも！「大阪のまちの通りと筋について、昔は大阪城に通じる道(東西)がメインとなり『〇〇通』という名前がつけました。ただし4つだけ例外があります。東西の道に関わらず、筋という名前が付く道はどこでしょう？」みなさんわかりますか？答えは「清水町筋」、「周防町筋」、「八幡筋」、「三津寺筋」の4つです。難波の宮の時代からあるまちで、太閤さんが船場を開拓した時に、昔の名前を残したからとも言われています。

すぐれもん参加者のみなさんとのコミュニケーションも楽しみながら、約2時間にわたるまちあるきは無事終了しました。

当日のまちあるきルート(約2時間)

大阪証券取引所ビル→新井ビル→少彦名神社→伏見ビル・青山ビル→除痘館記念資料室→愛珠幼稚園と銅座の跡→適塾(緒方洪庵旧宅及び塾)→北御堂ミュージアム→愛日会館



中央区まちのすぐれもん

大阪市のHPでは、まちのすぐれもの利用ガイドや中央区まちのすぐれもの活動状況などを紹介しています。是非チェックしてみてください！

<http://www.city.osaka.lg.jp/chuo/category/3133-3-0-0-0-0-0-0-0-0-0.html>

「まちのすぐれもん」で検索してね！

まちのすぐれもん

検索

